

見たい！ 知りたい！ 五色台！

発行 香川県立五色台少年自然センター

〒 761-8002

香川県高松市生島町 423 番地

電話 087-881-4428

https://www.pref.kagawa.lg.jp/goshikidaishonen/goshikidai_shonen

2022年 秋号

～身近に出会える昆虫たち～

五色台少年自然センターには、国内外の昆虫標本が多数展示・収蔵されています。これらの中には元県立高校教員、豊嶋弘氏（1932～2001）が生涯をかけて収集した珍しい昆虫標本がたくさんあります。今回はその中から、夏休みに企画展で展示した、身近に出会える昆虫の特徴を紹介します。

カブトムシ・クワガタ

カブトムシ・クワガタは、クヌギやコナラなどの広葉樹の樹液を飲んで生活しており、夕方から早朝にかけて活動することが多い昆虫です。樹液を摂取することから、甘いものを好む性質があり、果物を利用したトラップを用いて捕まえることができます。また、木に衝撃を与えると落ちてくる性質を利用した「蹴り採集」も有名ですが、この採集方法はカブトムシには通用しないので注意しましょう。



カブトムシ



ヒラタクワガタ

セミ

セミは市街地から山林まで、いろいろなところで見られます。セミの声は6月～10月ごろに聞くことができるので、セミの鳴き声で夏の初まりや終わりをを感じる人も多いのではないのでしょうか。セミは種類によって鳴き声が違うだけでなく、鳴き声を出す時期も異なります。これはセミの活動が「気温」と「周囲の明るさ」によって決まるからだと言われています。



アブラゼミ



ヒグラシ

トンボ

トンボは水の中に卵を産み、幼虫の時期を水の中で暮らすため、水のある環境で多く見られます。大きく3つの環境（川・池・田んぼ）に分けられ、それぞれの水質やエサによって見られるトンボも違ってきます。トンボの大きな目は複眼と呼ばれ、小さな目が1万個以上集まってできています。動くものは複眼でよく見えますが、あまり動かないものはよく見えないうつくりになっているので、見つけたらゆっくりと近づくようにしましょう。



オニヤンマ

これらの昆虫以外にも、当センターにはたくさんの種類の昆虫標本が展示されています。興味がある方はぜひひ見に来てくださいね。

